

15

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-325705

(43)公開日 平成5年(1993)12月10日

(51)Int.Cl.⁴H 0 1 H 13/02
13/70

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 7250-F
D 7373-5G

審査請求 未請求 請求項の数 2(全 2 頁)

(21)出願番号

特願平4-158843

(22)出願日

平成4年(1992)5月27日

(71)出願人 000237020

富士ポリマテック株式会社

東京都中央区日本橋本町4丁目8番16号

(72)発明者 佐々木 康史

東京都北区田端5-10-10 富士ポリマテック株式会社田端テクニカルセンター内

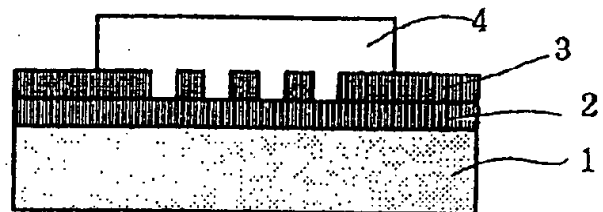
(74)代理人 弁理士 松田 省躬

(54)【発明の名称】 照光式接点シート

(57)【要約】

【目的】 照光式接点シートの薄型化、および製造工程の省略を図る。

【構成】 ELシートをそのまま接点シートとして使用する。



(2)

特開平5-325705

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 弾性を有するELシート上に、遮光性塗料を文字抜き印刷し、さらにその表面に透明樹脂のキートップ部が形成された照光式接点シート。

【請求項2】 ELシートの上面が色インキ塗装されている請求項1記載の照光式接点シート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、電子機器のスイッチ部使用する照光式接点シートに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の照光式接点シートは、LEDあるいはELにより裏側から文字部を照光している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の照光式接点シートは、この接点シートの裏側に発光装置を配置する必要があり、製造工程が増すばかりでなく、そのための空間が必要となるため、薄型化が図れない欠点を有する。

【0004】

【課題を解決するための手段】そこで本発明にあっては、ELシートをそのまま接点シートとして組み込み、この上面に文字部を印刷するようにした。これにより製造が簡単となり、かつ薄型化が図れるようにしたもので

ある。

【0005】

【実施例】図1に実施例を断面図で示す。

【0006】弾性を有するELシート1上に、色インキ2を塗布し、その上にポリエステル系黒インキ3（セイコーアドバンス：RUX）にて、スクリーン印刷により文字抜き印刷し、その上に透明樹脂（スリーボンド：TB3003）にてキートップ部4を形成して照光式接点シートを作製した。なお、色付きELシートを使用することで、色インキ2の塗布を省略できる。

【0007】

【発明の効果】本発明によれば、薄型の照光式接点シートを少ない製造工程で製作できるので、製造が簡単であり、コストも低減できる。また、ELシートの色を文字部の色として直接利用することで、色インキの塗装工程も省略でき、より製造コストを低減できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例の断面図

【符号の説明】

1 ELシート

2 色インキ

3 黒インキ

4 透明樹脂

【図1】

